



銚子ジオパーク推進 市民の会ニュース

第74号 2017年9月28日 発行

連絡先：茂木（090-8947-2869）

HP：<http://choshi-geopark.com>

今年も秋の大会

工藤 忠男
今年の9月に銚子ジオパークは5年目を迎えました。この5年間で銚子ジオパークは推進室をはじめ、推進協議会の各構成団体、市民の会の皆さん、市民の力により、スタート時には考えられなかったほど素晴らしいジオパークになってきました。

銚子ジオパークは千葉科学大学の安藤研究室から始まり、最初、安藤先生と教育委員会へ出向き、ジオパークの事を相談しました。「それは生涯学習課の仕事です」と言われ、何度も生涯学習課へ相談に行っていたのですが、「文化財審議会でも検討することなので、それを待ってくださいます」という返事で

した。忙しかったのでしよう。結局文化財審議会委員会は開かれませんでした。これでは何も始まらないで終わってしまいます。安藤先生と市長に直接会って、他のジオパークと同じように、市長からトップダウンでジオパークを進めて欲しいと相談しました。しかし、当時の市長に「市民が盛り上がり、行政もバックアップしましょう」と言われたのです。「自分たちがまず行動すること、いかに行政に協力するの、面的に頼るのではなく、自分たちで考えてジオパーク活動する事を始めました。

り、行政も一緒にやってジオパークを支えていくという、他のジオパークとは少し違う銚子ジオパーク・スタイルが作られたわけです。最初に安藤先生とはじめたことは市民の会の設立でした。最初のメンバーは市民の会の役員が埋まらないほどでした。それと、ジオパーク講座を大学で開催しました。そこで安藤先生の講義の中にジオパークの面白さを知った会員から知り合いへと、その評判が伝わり、現在では市民の会の会員は300名を超す数になっています。

終わると、銚子のジオパークは終わってしまう」と安藤先生も私も同じことを考えていました。そこで、ジオパークの活動を皆さんにしてみたい。事ではなかった。安藤先生に提案したことは「パンフレット作り」「看板作り」の3点です。その後、海岸清掃活動が加わります。このパンフレット作り等に参加してくれたい人たちが、設立当初からの市民の会の活動の中心になってくれました。この続きの話は、機会がありましたら、少しずつ書いていこうと思っております。

最後に、最近銚

今月の俳句

とつばすれ 犬岩吠えて 満月や
秋めいて 屏風ヶ浦に 競う富士
松家 英彦

子市では年間1200人を超える人口減少が見られます。国勢調査で平成27年までの人口減少率は8%を超えています。国の人口減少率は0.8%です。銚子の人口減少率がこれに高いかが分かります。この人口減少を補うために観光により銚子に来てくれる人を増やす事を市は考えています。銚子の観光協会も国から補助金を貰い「観光DMO」という事業を始めました。市もこれをバックアップして銚子の観光を盛り上げようとしています。これからの銚子ジオパークも、また市民の会もどういった形で関わっていく



ジオガイド講座_犬岩

くか考えなければならぬと思っております。

今後の予定

- 10月14日 ガイド養成講座 展望館 09:30
- 10月15日 トンビ岩 13:00
- 10月19日 犬岩周辺清掃・見学会
- 10月25日~27日 JGN全国大会